

【ビルマ国内・国際関係】

- ・ 先週のテインセイン大統領の中国訪問の結果、両国は経済協力等9つの協定に調印した。(27日 APほか)
- ・ 民主化運動指導者アウンサンスーチー氏は30日、香港大学が開いた対話集会にビデオリンクで生出演し、6月にも地方遊説を行う予定があることを明らかにした(30日 APほか)。前回の地方遊説中の2003年5月には、氏の車列が親軍政の集団に襲撃され、支持者ら数十人が死亡した(ディペイン虐殺事件)。
- ・ ジョン・マケイン米上院議員が1日からビルマを訪問し、首都ネーピードーでティンアウンミンウー副大統領ら政府・議会関係者と会談した。ラングーンでは国民民主連盟(NLD)が運営するエイズ患者用の施設を訪れた。さらに民主化運動指導者アウンサンスーチー氏と15年ぶりに再会。スーチー氏は会談後「会談には満足している」と述べた(2日 AFP、2日 ミジマほか)。
- ・ マケイン議員はビルマ訪問に先立ちタイを訪れ、ビルマとの国境近くにあるメーラ難民キャンプを視察。タイ政府がキャンプを閉鎖し難民を送還する計画であることについて「難民が母国で迫害される恐れがある限り送還は行われないと信じている」と述べた(1日 バンコク・ポスト)。

【政府開発援助 (ODA)】

- ・ 新たな発表はなし。

【注目アイテム】

- ・ シャン州の上パウンラウンダム建設についてカヤン民族の団体が簡易報告書を発表。国軍当局は水没予定地域内の住民約8,000人に移転を命じた。補償額として提示されたのは一世帯当たり約50ドル(31日 カヤン新世代青年団体)。 <http://www.kngy.org/wp-content/uploads/2011/05/Leaflet-Paunglaung-English.pdf>
- ・ アウンサンスーチー氏出演の香港大学での対話集会の様相(動画など) : <http://www0.hku.hk/socsc/assk>
- ・ カレン民族同盟(KNU)が5月26日に声明。カレン州で今年1月から4月までに、ビルマ国軍が約2,000人のカレン住民に強制労働させ、約1,200人を「人間の盾」あるいは「人間地雷探知機」として使用したとし、紛争地域のそうした実態を調べるためにも、国連調査団の設置を支持するよう国際社会に求める内容。

【イベント情報】 ([] 内は主催者。共催等は省略)

- ・ [シャン民族民主主義会] クントウンウー氏の釈放を求める抗議行動(国連大学前、9日 15~16時)
- ・ [もりおか女性センター] 「ビルマ VJ 消された革命」上映(岩手・おでってホール、10日 18時半~)
- ・ [ビルマ民主化支援会] 『ピュア 希望の鐘』上映・講演会(伏見ライブプラザ、11日 18時半~20時)
- ・ [メータオ・クリニック支援の会] 平成22年度活動報告会(JICA 地球ひろば、12日 14時半~17時)
- ・ [早稲田大学アジア研究機構アジア平和研究所ほか] 緊急シンポ「援助を阻むもの、復興を阻むものーアジアと東日本の被災からー」発題(予定): 辻元清美(首相補佐官)、秋元由紀(ビルマ情報ネットワーク)、佐伯奈津子(インドネシア民主化支援ネットワーク)ほか(大隈記念講堂・小講堂、18日 13時半~)
- ・ [ビルマ女性連盟日本支部] アウンサンスーチー氏66歳誕生日記念式典(スーチー氏からの映像メッセージ上映などを予定)(南大塚地域文化創造館大会議室、19日 18時~20時半)
- ・ [新社会民主党ほか] ミンコーナイン氏の釈放を求める行動(在日ビルマ大使館前、21日 15~16時)
- ・ [ビルマ市民フォーラム] 第15回総会および講演「何か変わったか?ー新政権発足3ヶ月」根本敬(上智大学教授)、ティンウィン(在日ビルマ市民労働組合代表)(池袋・生活産業プラザ8階、25日 18時~)

もっと詳しい情報・お問い合わせは
ビルマ情報ネットワーク <http://www.burmainfo.org>